

徳島発のバイオテクノロジー 阿波晩茶とコオロギの魅力

徳島県には、世界的にも珍しい製法で作るお茶があります。そうです、乳酸発酵によって作る阿波晩茶です。弘法大師によって伝えられたという説もあり、オールドバイオとして長い歴史を持ちます。一方で、ゲノム編集など最先端のニューバイオを駆使してコオロギの可能性を開拓するベンチャー企業、グリラスも徳島県に誕生しました。

今回のサイエンスカフェでは、これら2つの徳島県産バイオの魅力を語りつくしていただきます。



2024年11月24日（日） 14時00分～16時00分
徳島大学フューチャーセンター（徳島市南常三島町1-1）

講師：西岡 浩貴（徳島県立工業技術センター）

渡邊 崇人（徳島大学バイオイノベーション研究所）

挨拶：室田 佳恵子（島根大学学術研究院農生命科学系、日本学術会議農芸化学分科会委員）

参加費：200円（茶菓子代として）

定員：30名（事前申し込み制、先着順）

申し込み方法：下記のURLか右のQRコードからお申し込みください

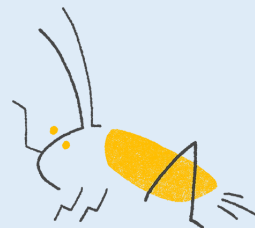
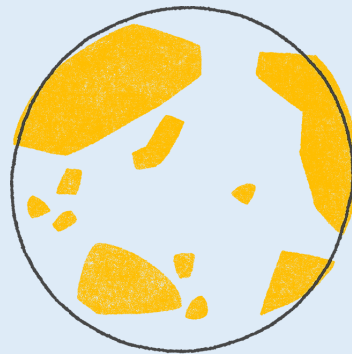
<https://forms.office.com/r/31JF8hMU5e>

（定員30名に達し次第、締め切ります）

申し込み〆切：11月16日（土）

問い合わせ先：kawakami@tokushima-u.ac.jp

（川上竜巳 徳島大学生物資源産業学部）



主催：公益社団法人 日本農芸化学会
共催：日本学術会議食料科学委員会・
農学委員会合同農芸化学分科会



生命・食・環境を科学する学会

公益社団法人 日本農芸化学会